

令和7年10月1日号

まちなみ通信 No.77

～ 9月の出来事など ～

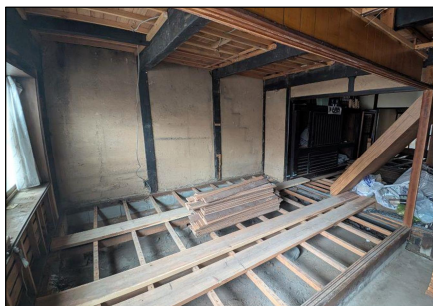


廿日市市宮島町のスタンプ

－ 旧若狭家の内装解体調査 －

宮島で最も古い町家のひとつと言われている「旧若狭家」を修理し、公開施設として整備する事業を進めています。

8月には建物の改修履歴を調査するために内装の一部を撤去し、柱など構造材の痕跡を確認しました。その一部を紹介します。



ミセ(一番道路側の部屋)



オウエ(ミセ隣の部屋)

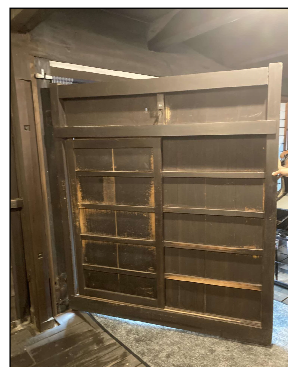


ザシキ(オウエ隣の部屋)

－ 玄関周り －

玄関横の内装材を撤去したところ、黒く経年変化した木枠が姿を現しました。かつて出入り戸として設置されていた横開きの大戸※を開けるときの壁側に納めるための木枠と思われます。

これとは別に、一回り小さな大戸が設置されていたと思われる痕跡も見つかっています。今後の状況は、まちなみ通信で随時、紹介していく予定です。

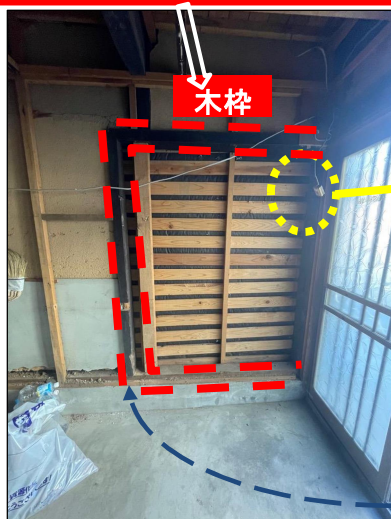


※歴史民俗資料館の大戸

大戸を開けたときに収納されるスペース



内装材撤去前



内装材撤去後



大戸を取り付けていた金物

～ 県立宮島工業高校の取組がテレビで紹介されました～

県立宮島工業高校では、4年前から3Dプリンターで宮島町家の模型制作に取り組んでおられます。9月17日（水）にNHKの番組で、今年度制作する建物を調査するようすが紹介されました。この取組は、地元の高校生が宮島町家を実地測量しながら、宮島の伝統的な技法や暮らしを学び、模型製作を通じて住民や来島者に学んだことを発信することを目的としています。

※ 右のQRコードを読み取るとニュース動画や記事をインターネットでご覧いただけます。



ニュース動画・記事

～ 伝統的建造物の紹介 No.11 《博多家》～

みなと隧道から南に100mほどの位置に建つ下西連町の町家です。外観・内部ともに大きく改装され、建築年代を特定することは困難ですが、障子の棧の細さなどの特徴が、大正期頃に建築された旅館などと類似しています。

主屋は切妻造平入棧瓦葺2階建てとなっており、間口3間、奥行き5間半の小規模な町家です。主屋以外には庭と附属屋があり、庭側の2階には欄干のついた濡れ縁があります。



外観の様子



サッシ内側にある欄干

—受付中— 【補助制度】 シロアリを駆除しませんか

伝統的建造物の保存同意をいただいている所有者の方を対象としたシロアリ駆除のための補助制度があります。（補助率9/10以内 上限100万円 予算には限りがあります）
シロアリ被害にお困りの方や心配がある方は、宮島企画調整課までご相談ください。

【建物相談会のご案内】

宮島企画調整課の職員（建築職）による、建物相談会を実施します。

○日時：令和7年10月9日（木）10時00分～16時00分〈予約は不要です〉

○場所：etto 宮島交流館 1階会議室

○相談事例：建物のお困りごと（雨もり、シロアリ、外壁の劣化、耐震化など）や補助制度のことなど

※ 相談等に関して知り得た個人情報を利用目的以外の目的に利用し、又は第三者に提供することはありません。